



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ  
コード番号 9791 URL <http://www.bikentechno.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶山 龍誠

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 三木 悟

TEL 06-6380-2141

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,422	5.2	485	△1.2	496	4.6	313	6.5
23年3月期第2四半期	11,806	△12.3	491	△20.4	474	△11.1	294	△10.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 299百万円 (4.2%) 23年3月期第2四半期 287百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	41.28	—
23年3月期第2四半期	38.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	27,634	11,537	41.8	1,529.42
23年3月期	27,333	11,377	41.6	1,481.91

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,537百万円 23年3月期 11,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	5.3	950	144.4	900	137.8	450	24.5	58.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	7,718,722 株	23年3月期	7,718,722 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	174,800 株	23年3月期	41,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	7,597,107 株	23年3月期2Q	7,677,536 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界は、顧客企業の活動が電力供給の制約を受ける中、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況の下、当社グループにおきましては、ファシリティマネジメントに重点を置いた営業展開により、省エネ提案や顧客が保有している資産の有効活用の提案等を進めております。10月には、当社グループにおけるアジア地域での展開を図っていくため、業務の拠点並びに情報収集の拠点としてシンガポールに本格進出いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ビルメンテナンス部門において大型の新規現場を獲得したことや、大規模修繕工事、入退去工事などを獲得したことにより、増収となりました。また、フランチャイズ事業では、新業態の店舗運営が順調に推移しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は124億22百万円（前年同期比5.2%増）、経常利益は4億96百万円（前年同期比4.6%増）、四半期純利益は3億13百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### ① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、ビルメンテナンス部門で大型の新規現場の獲得が進みました。新規現場において立ち上げ費用の増加がありましたが、作業工程の見直しや協力業者への委託業務の変更を進めつつ、自社での作業消化に切り換えを行い、既存現場での原価の削減を進めております。エンジニアリング部門では、マンションの大規模修繕工事やオフィスビルの入退去工事を獲得いたしました。サニテーション部門では、東日本大震災によりお客様の工場の稼働停止や原子力発電所の事故に関する風評被害が長期化しており、売上が減少しております。

第3四半期連結会計期間におきましても、引き続きファシリティマネジメントに重点を置いた提案型営業を進めていくとともに、プロパティマネジメント業務の拡大を図り、収益体質を強化してまいります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は101億9百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は9億72百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

#### ② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介並びに保有している不動産の賃貸などを行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、賃貸収入が安定的に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億3百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は46百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

#### ③ 介護事業

介護事業では、ホスピタリティをさらに高め入居者の皆さまに喜んでいただけるよう施設を運営している中で、人員配置を手厚くしたことによる経費増が発生しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6億25百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は4百万円（前年同期比89.4%減）となりました。

#### ④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、ツタヤ、ミスタードーナツ、プロント、ローソンの店舗を運営しております。第1四半期連結会計期間よりPIZZA SALVATORE CUOMO 梅田店（大阪市北区）の運営を開始し、順調に推移しております。なお、第3四半期連結会計期間において、大阪市北区にプロント東梅田店、大阪市都島区にPIZZA SALVATORE CUOMO京橋店を開店することとしております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14億70百万円（前年同期比14.1%増）、セグメント利益は1億22百万円（前年同期比40.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億1百万円増加し276億34百万円となりました。これは主に、不動産事業において販売用不動産の仕入を行ったことによりです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加し160億96百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済は進んだものの、短期的な資金需要により短期借入金が増加したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億60百万円増加し115億37百万円となりました。これは主に、四半期純利益が増加したことによりです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日公表の「平成23年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,557,217	4,656,540
受取手形及び売掛金	2,376,588	2,457,664
商品及び製品	162,294	166,160
販売用不動産	6,933,759	7,144,587
仕掛品	28,473	13,285
原材料及び貯蔵品	31,064	34,902
その他	2,800,161	2,576,010
貸倒引当金	△546,477	△565,637
流動資産合計	16,343,082	16,483,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,452,925	3,493,165
土地	5,346,341	5,358,867
その他（純額）	229,178	237,315
有形固定資産合計	9,028,444	9,089,349
無形固定資産	285,403	405,568
投資その他の資産		
その他	1,830,304	1,796,120
貸倒引当金	△153,847	△140,133
投資その他の資産合計	1,676,456	1,655,986
固定資産合計	10,990,304	11,150,903
資産合計	27,333,386	27,634,418

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,292,119	1,305,109
短期借入金	2,700,000	3,260,000
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	2,580,490	2,551,130
未払法人税等	201,790	204,175
賞与引当金	213,559	222,747
その他	1,654,610	1,822,354
流動負債合計	8,862,570	9,585,516
固定負債		
社債	510,000	400,000
長期借入金	5,270,506	4,814,804
退職給付引当金	418,283	429,718
役員退職慰労引当金	227,260	221,560
その他	667,335	645,024
固定負債合計	7,093,385	6,511,107
負債合計	15,955,956	16,096,624
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,852,220	1,852,220
利益剰余金	7,712,208	7,949,002
自己株式	△15,929	△78,435
株主資本合計	11,357,300	11,531,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,130	6,205
その他の包括利益累計額合計	20,130	6,205
純資産合計	11,377,430	11,537,793
負債純資産合計	27,333,386	27,634,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	11,806,588	12,422,050
売上原価	9,334,210	9,939,635
売上総利益	2,472,377	2,482,414
販売費及び一般管理費	1,981,079	1,997,133
営業利益	491,297	485,280
営業外収益		
受取利息	20,399	21,740
受取配当金	4,104	4,015
受取保険金	145	17,986
持分法による投資利益	10,054	1,243
その他	40,462	40,429
営業外収益合計	75,167	85,415
営業外費用		
支払利息	70,178	58,661
支払手数料	10,851	14,882
その他	11,017	1,119
営業外費用合計	92,047	74,663
経常利益	474,417	496,032
特別利益		
固定資産売却益	5,514	23
貸倒引当金戻入額	52,337	—
その他	1,201	—
特別利益合計	59,053	23
特別損失		
固定資産売却損	7,302	—
固定資産除却損	4,969	575
会員権評価損	8,000	150
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,664	—
その他	45	—
特別損失合計	59,982	725
税金等調整前四半期純利益	473,489	495,329
法人税、住民税及び事業税	67,136	182,078
法人税等調整額	111,981	△339
法人税等合計	179,118	181,739
少数株主損益調整前四半期純利益	294,371	313,590
四半期純利益	294,371	313,590



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	294,371	313,590
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△6,857	△13,924
その他の包括利益合計	△6,857	△13,924
四半期包括利益	287,513	299,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,513	299,665
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。